



出版120周年

ピーターラビット展

【プレスリリースのお問い合わせ】 展覧会担当: 伊藤・太田 広報担当: 大庭・岡田

静岡市美術館

SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F info@shizubi.jp

Aoi Tower 3F, 17-1, Koyamachi, Aoi-ku, Shizuoka, 420-0852 JAPAN

tel. 054-273-1515 (代表) fax. 054-273-1518 www.shizubi.jp

出版120周年

ピーターラビット展



今なお世界中で愛されるいたずら好きなウサギ、ピーターラビット。

1902年にフレデリック・ウォーン社*から刊行されたシリーズ第1作『ピーターラビットのおはなし』は、2022年に出版120周年を迎えます。

本展は、そのメモリアルイヤーを祝う盛大なバースデイパーティをテーマに、ピーターラビットの誕生前夜から今日に至るまでの歩みを、貴重な原画や書籍、関連アイテムなど約170点で振り返ります。なかでも創作の原点となった作者のビアトリクス・ポター(1866-1943)の直筆の絵手紙や、『ピーターラビットのおはなし』の彩色画が、作家が当初構想した通りに公開されるのは日本初の機会となります。

やんちゃで魅力的なピーターラビットの世界をお楽しみください。

*フレデリック・ウォーン社は The World of Peter Rabbit™ のブランドオーナーです。



開催概要

■会 期：2022年9月15日(木)－11月6日(日)〔全46日間〕

■休 館 日：毎週月曜日(ただし祝日の場合は開館、翌平日休館)

■開館時間：10:00－19:00(展示室入場は閉館30分前まで)

■観 覧 料：一般1,400(1,200)円、大高生・70歳以上1,000(800)円、中学生以下無料

*()内は前売および20名以上の団体料金(団体は来館当日に限り購入可能)

*障がい者手帳等をご持参の方および介助者原則1名は無料

■前 売 券：7月30日(土)から9月14日(水)まで販売予定

■当館ホームページ(www.shizubi.jp)より日時指定予約ができます。詳細はHPをご覧ください。

■主 催 等 主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ

後援(予定)：静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

企画協力：朝日新聞社、東映

協力：日本航空、ソニー・クリエイティブプロダクツ

監修：河野芳英(大東文化大学教授)

■公式サイト：<https://peter120.exhibit.jp>



みどころ



シリーズ最初の絵本

『ピーターラビットのおはなし』 彩色画全点^{*1}を一堂に展示！

日本初!!

1902年、ロンドンの出版社フレデリック・ウォーン社^{*2}から『ピーターラビットのおはなし』が刊行されることとなり、ビアトリクスは全ての挿絵を水彩で描きました。初版本や版を重ねた絵本では、一部の挿絵が掲載されませんでしたが、出版から100年が経過した2002年以降、ビアトリクスの当初の想いを尊重し、英語版の絵本では全ての挿絵が掲載されるようになりました^{*3}。そして出版120周年を祝う本展では、日本初公開の原画を含む彩色画全点を紹介し、作者が当初思い描いた絵本のすがたを展示で再現します。



「さあ、子どもたち」と、お母さんウサギは言いました。

「野原か森の小道に行ってもいいけれど、

マダレーガーさんの畑には入ってはいけませんよ」

《『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画》 1902年
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2017

まず最初に、ピーターはレタスを何枚か食べ、

サヤインゲンを食べ、そして

ラディッシュをいくつか食べました。

《『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画》 1902年
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2017



*1 ビアトリクスによる原画が所在不明となっており、フレデリック・ウォーン社が2010年に再制作したものを含みます。

*2 フレデリック・ウォーン社はThe World of Peter Rabbit™のブランドオーナーです。

*3 日本でも、挿絵全点を掲載した絵本『ピーターラビットのおはなし』を含む全23巻の新訳版が2022年3月より順次出版されています（早川書房刊）。



無理やり木戸の下から

もぐり込みました。

《『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画》 1902 年
ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2017

靴が脱げたので、速く走ることができましたが、
運悪く、スゲリの木にかけてある網に飛び込んで、
ジャケットのボタンが引っかかってしまいました。

その青いジャケットは
真鍮のボタンがついていて、まだ新しいのに。

《『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画》 1902 年
ウォーン・アーカイブ／フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2017



ピーターはふたたび物置小屋の方に戻りました。

突然、ざくり、ざくっ、というクワの音が聞こえてきたので、
急いで小さな木の下に逃げ込みました。

初版本未掲載の原画／日本初公開

《『ピーターラビットのおはなし』挿絵原画》 1902 年
ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館（リンダー・コレクションからの寄贈）
Courtesy of The Victoria and Albert Museum and Frederick Warne & Co.

みどころ

2

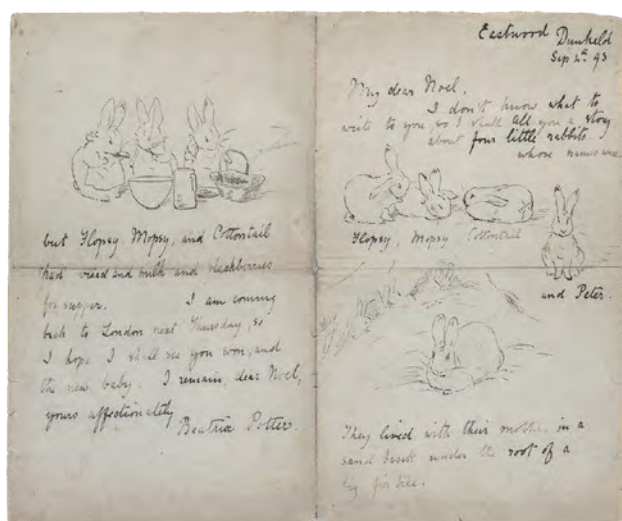


ピーターラビット™ 誕生までの物語

原点となる絵手紙とウサギのスケッチを日本初公開！

『ピーターラビットのおはなし』は、1893 年、ビアトリクスが病床の元家庭教師の息子ノエル・ムーアを元気づけるために送った絵手紙が原点となっています。展覧会ではその貴重な絵手紙の直筆オリジナルを日本初公開！併せて、ビアトリクスが描いた日本初公開となるペットのウサギのスケッチなどピーターラビットが誕生する前に制作された貴重な作品も展示します。ビアトリクスの卓越した観察力と写実性は、後のピーターラビットの世界へと繋がっていきます。

日本初公開!!



《ノエル・ムーア宛ての絵手紙》 1893 年 ビアソン PLC
© Victoria & Albert Museum, London, 2015



日本初公開

《ウサギの頭部習作》 1890 年頃
ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館(リンダー・コレクションからの寄贈)
Courtesy of The Victoria and Albert Museum and Frederick Warne & Co.



日本初公開

《庭の野ウサギ》 1892 年
ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館(リンダー・コレクションからの寄贈)
Courtesy of The Victoria and Albert Museum and Frederick Warne & Co.



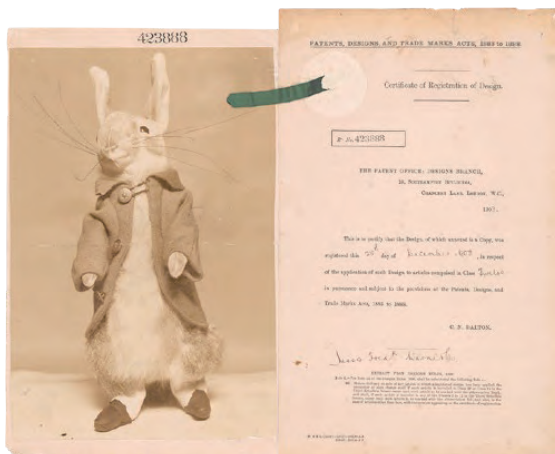
3

作者ビアトリクス・ポター™ 監修、 100 年以上前に作られた 貴重な関連アイテムも大公開！

ビアトリクスは、絵本の出版だけではなく生涯にわたって様々な関連商品も手がけました。絵本のキャラクターを商品化するための特許を取得したのは、ビアトリクスが最初の人物だと言われています。商品化に対する彼女の意欲は旺盛で、アイデアには事欠かず、多数のアイテムを監修しては、納得がいくまで自分自身で品質やデザインを細かく確認しました。本展では作者自らが監修したピーターラビットのぬいぐるみなど、100 年以上前に作られた貴重なアイテムの数々もご覧いただけます。



《ピーターラビットのぬいぐるみ》
シュタイフ社 1905 年
ウォーン・アーカイブ/
フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2017



《ピーターラビットのぬいぐるみ特許証》
1903 年
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2020

ビアトリクスは、1903 年に自作したぬいぐるみの写真を撮り、商品化のため特許を取得しました。その 2 年後に製造されたシュタイフ社製のピーターラビットのぬいぐるみは、正式な許可のもとで販売されました。

4

ハッピーバースデー！ ピーターラビット™

世界中の人がピーターラビットを愛し、周年ごとにその誕生をお祝いしてきました。展覧会では、これまでに製作された記念のアイテムをご紹介するとともに、ピーターラビットの世界を体験できるイギリス湖水地方のザ・ワールド・オブ・ビアトリクス・ポター・アトラクションが本展のため特別に制作した、高さ 180 cm の特大バースデイクーキも登場し、ピーターラビットの出版 120 周年を楽しくお祝します。

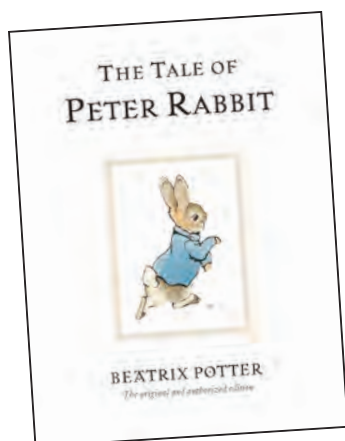
バースデイクーキデザイン
Designed by Caroline Dalton
*画像はイメージです。
実際の展示物とは異なる可能性があります。



陶磁器メーカーのウェッジウッド社は、『ピーターラビットのおはなし』出版 45 周年の 1947 年にピーターラビットをモチーフにしたシリーズの製造・販売を始めました。

【左】《ピーターラビットのナーサリーウェア
(クイーンズウェア・コレクション)：プレート》
ウェッジウッド社 1947-1955 年

【右】《ピーターラビットの
チルドレンズウェア：ジャグ》
ウェッジウッド社 1974-1988 年



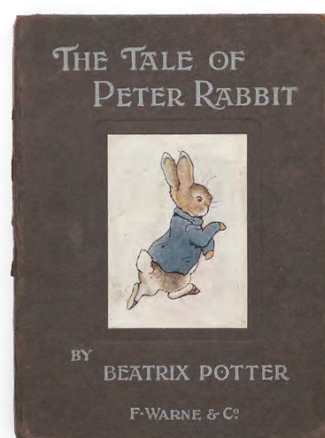
「ピーターラビット™」 シリーズとは

愛くるしく魅力的な動物たちが、美しい自然の中で織りなすウィットに富んだ物語。1902 年刊行の『ピーターラビットのおはなし』を皮切りに、1930 年まで次々に出版され、シリーズは全部で 23 冊となりました。

(参考) 《『ピーターラビットのおはなし』現行版》フレデリック・ウォーン社 2002 年
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2002

『ピーターラビットのおはなし』 あらすじ

いたずらっこのピーターは、お母さんの言いつけを守らず、一人でマグレガーさんの畑に入り込みます。レタスやラディッシュを食べた後、マグレガーさんに見つかってしまったピーターは、ジャケットや靴を脱ぎ捨て、ジョウロの水でびしょ濡れになりながら一生懸命逃げ回ります。やっとのことで出口を見つけ、いちもくさんに家に帰ったピーターは具合が悪くなってしまいます。そんなピーターに、お母さんはカモミールの煎じ薬を飲ませてあげました。



《『ピーターラビットのおはなし』初版(濃茶色厚紙装丁版)》
フレデリック・ウォーン社 1902 年
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2021

本展監修者 河野芳英先生からのコメント

1893 年 9 月 4 日、ビアトリクス・ポターはボリオで病床にいる知人の息子ノエル・ムーアに一通の絵手紙を送りました。いたずらウサギのピーターがマグレガーさんの畑に忍び込み、捕まりそうになり、やっとの思いで住まいに戻るという、行きて帰りし物語。そこにはビアトリクス・ポターの心優しい励ましのメッセージを読み取ることができます。ノエルは外を駆けまわり、カモミールの煎じ薬を飲むピーターの姿を自分と重ね合わせたことでしょう。絵手紙は『ピーターラビットのおはなし』として出版され、世界中の児童文学を代表する絵本としてだけでなく、「ピーター」はキャラクターグッズとなり販売され、世界規模の展開を見せます。今回展示されるノエル少年への直筆の絵手紙、やんちゃなピーターの水彩原画などは、コロナ禍の影響で塞ぎがちな私たちの気持ちをなごませてくれること請け合いです。出版後 120 年が経っても今なお銷びない「ピーターラビット」を実感するためにぜひ会場にお運び下さい。



作者 ビアトリクス・ポター™ Beatrix Potter™

ビアトリクス・ポター 1892年
ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
Courtesy of the Victoria and Albert Museum

ロンドンの裕福な家庭に生まれたビアトリクス・ポター（1866-1943）は幼い頃から絵を描く才能を発揮し、特に小動物を好んで描きました。挿絵画家として仕事を始めた頃、元家庭教師の息子、ノエル・ムーアの療養を見舞う、いたずら好きなウサギのピーターについての絵手紙を送ったことから始まった「ピーターラビット」シリーズは、世界中で 2億 5000万部を超えるロングセラーとなっています。ビアトリクスは絵本だけではなくピーターラビットの様々な関連商品も手がけました。絵本のキャラクターを商品化するための特許を取得したのは、ビアトリクスが最初の人物だと言われています。彼女の情熱はイギリスの湖水地方の景観を守ることにも向けられ、著書によって得た収入を元に広大な土地を次々と購入し、農場経営を通して、生涯に渡りその自然を守り続けます。彼女の没後、そのほとんど全ての土地と建物はナショナル・トラストに寄贈されました。



ビアトリクス・ポター™の 愛した湖水地方とは

イングランド北西部に位置する自然に恵まれた美しい地域。ビアトリクスとその後のナショナル・トラストの保護活動により、風光明媚な湖畔や山々、谷間に穏やかに連続する牧草地は何百年も前からの姿を保ち続けています。豊かな自然と田園風景の中で動物たちを観察しスケッチすることにより、ビアトリクスは「ピーターラビット」シリーズのインスピレーションを受けました。



エスウェイト湖

ビアトリクスが「最も美しい湖」と讃えた、湖水地方ニア・ソーリー村近くにあるエスウェイト湖。(撮影：辻丸純一)



ヒルトップ・ガーデン

ビアトリクスが暮らしたヒルトップ・ハウスの庭には、ビアトリクス自身が丹精を込めて作り上げた花々が今でも咲き誇っています(撮影：辻丸純一)

About Peter Rabbit™ and Beatrix Potter™

The Tale of Peter Rabbit is one of the world's best-loved children's books and was created by author and illustrator, Beatrix Potter in 1902. The story has never been out of print since it was first published by Frederick Warne & Co. (today an imprint of Penguin Random House) and has sold in excess of 46 million copies globally. Today over 2 million of her 'little books' are sold globally every year, whilst Peter Rabbit has appeared on books and merchandise in more than 110 countries throughout the world.

In 2022, Penguin Random House Children's will be celebrating 120 years of mischief with a global campaign to bring The World of Peter Rabbit™ to new family audiences via high profile partners and ambassadors. New digital content, commemorative publishing and consumer products will launch alongside immersive experiences and events, to ensure that families everywhere can come together to celebrate with Peter Rabbit.

ピーターラビット™とビアトリクス・ポター™について

世界中の子どもたちに最も愛されている絵本のひとつである『ピーターラビットのおはなし』は、1902年に作家兼イラストレーターのビアトリクス・ポターによって書かれました。フレデリック・ウォーン社（現在はペンギン・ランダムハウス社のインプリント）によって初版が発行されて以降、一度も絶版になることなく、全世界での累計販売部数は 4,600万部を超えました。現在、ビアトリクスの「ピーターラビット」シリーズは、世界で毎年 200万部以上が販売され、ピーターラビットの絵本やグッズは世界 110 カ国以上に広がっています。

2022年、ペンギン・ランダムハウス・チルドレンズは、『The World of Peter Rabbit™』を新たなファミリー層の読者に広めるべく、出版 120周年を記念して著名人やアンバサダーを起用したグローバルキャンペーンを実施します。新作デジタルコンテンツ、記念出版物、関連グッズの販売に加えて、楽しい体験型のイベントをご用意し、世界中のファミリーのみなさまと共にピーターラビットのお誕生日を盛大にお祝します。



www.peterrabbit.com

PETER RABBIT™ © Frederick Warne & Co. 2022.

PETER RABBIT and BEATRIX POTTER are trademarks of Frederick Warne & Co.,
a Penguin Random House Company. All rights reserved.



◎音声ガイドナビゲーターは 松下洸平さん（俳優・シンガーソングライター）がつとめます！

◎展覧会オリジナルグッズが大集合

文具、お菓子、インテリア、ぬいぐるみなどの展覧会オリジナルグッズをはじめ、
書籍や輸入雑貨など、充実の展覧会公式ショップが登場！

本革製チャーム付き
マスコット
1,980円



ポピーダズラー
上：ブルージャケットうさぎ
下：ピーターコスチューム
各 18,700円

ロンドン在住の2名のデザイナーが手掛けるドルブランド、ポピーダズラー。ハンドメイドで生み出される希少なクリエーションは、全てが1点物で、どのキャラクターもそれぞれのストーリーを持っています。本展覧会では特別にピーターラビットとのコラボが登場。



リパティプリントのぬいぐるみ
3,520円

リパティ・ファブリックスとピーターラビットのコラボコレクションから、本展覧会の特別限定色が登場。



巾着袋
各 880円



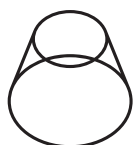
抱きぬいぐるみ
4,180円



マグカップ
各 1,650円

*商品の価格は全て税込みです。
*商品のデザインや価格は予告なく変更する場合がございます。
*グッズは数量限定のため、品切れとなる場合がございます。

関連イベント 決定次第当館 HP でお知らせいたします



静岡市美術館
SHIZUOKA CITY
MUSEUM of ART



- 《電車》 JR静岡駅北口より地下道を利用して徒歩3分
静岡鉄道新静岡駅より徒歩5分
- 《新幹線》 東京駅・名古屋駅から東海道新幹線ひかり号で約1時間
新大阪駅から東海道新幹線ひかり号で約2時間
- 《車》 東名静岡ICより約15分
※お車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。
- 《空路》 富士山静岡空港より静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で約1時間

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F
tel. 054-273-1515 (代表) fax. 054-273-1518 www.shizubi.jp